
はじめに

生まれた時から、日々育ちを積み重ねる子どもたち。家庭・地域で、また幼稚園や保育所、認定こども園等で健やかに心身が育ち、そして小学校へ進学していきます。

一人ひとりの子どもの健やかな成長は、幼稚園教諭・保育士をはじめとする教育・保育に関わるすべての者の願いです。

一方、近年の子どもをとりまく状況をみると、急速な少子化による家族形態の変化や就労環境の多様化、地域のつながりの希薄化などに伴い、家庭や地域の子育て力・教育力の低下など厳しい現実があります。

また、このような社会状況の中で、子どもたちは生活体験や自然体験が不足し、他者との関わりの機会も少なくなってきました。そのため、近年の子どもの育ちについては、自制心や規範意識が十分に育っていない、基本的な生活習慣が身につけていない、運動能力が低下しているといった問題が指摘されており、子どもたちにとって生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、多くの時間を過ごすこととなる就学前教育・保育施設の果たす役割は、非常に重要性を増しています。

その一方で、各就学前教育・保育施設の考え方や就学後の小学校の教育課程の構成原理や指導方法との間に差異があることなどから、育ちや学びの連続性・一貫性を図ることが、大きな課題となっています。この課題を乗り越えるためには、子どもと関わりを持つ各施設間の互いの教育・保育への理解が欠かせません。

このような子どもの育ちや各施設をめぐる課題等は、本市においても同様の状況となっていることから、これまでの間、幼稚園、保育所及び小中学校の連携をめざして、あらゆる機会をとらえて交流を促進し、学習内容や指導方法等の情報交換、合同研修などを積み重ね、連携強化を進めてきました。今後は、認定こども園等の子ども・子育て支援新制度開始以降の新たな施設も含め、この取り組みをさらに一歩前に進め、本市が就学前教育・保育において重視する内容を明確にし、すべての子どもが質の高い教育・保育を受けることができる環境を整えることが求められています。

こうしたことから、就学前の教育・保育施設を一体的にとらえ、それぞれの設置目的や理念・制度の違いを超えて、育てたい子どもの姿や育ちを共有し、就学を見据えた教育・保育を小学校とともに実践していくため、「門真市就学前教育・保育共通カリキュラム」を策定します。

目 次



1. 門真市就学前教育・保育共通カリキュラムの位置付け	1
(1) 背景・経緯	1
① 国の動きとの関係	1
② 市の関連計画との関係	2
(2) 本市の就学前児童の状況	6
① 子どもの人口の推移と将来推計	6
② 就学前教育・保育施設等の状況	7
(3) 共生の視点を大切にした就学前教育・保育の内容の充実	8
① 障がいがある子どもや配慮が必要な子どもとその保護者への支援	8
② 家庭・生活環境に課題を抱える子どもへの支援	10
③ 外国につながりをもつ子どもへの支援	11
(4) 健康・安全の配慮	12
(5) 地域の子育て支援の拠点としての役割	14
2. 基本理念	16
3. めざす子ども像	17
4. 年齢別カリキュラム（各年齢の発達と教育のねらい）	18
おおむね6カ月未満	23
おおむね6カ月～1歳3カ月	24
おおむね1歳3カ月～2歳未満	25
おおむね2歳	26
おおむね3歳	27
おおむね4歳	28
おおむね5歳	29
5. 小学校への接続	30
(1) 就学前教育から小学校教育への円滑な接続	30
(2) 就学に向けての連携・交流等の取り組み	35



参考資料	37
門真市幼児教育振興検討委員会委員名簿	37
門真市就学前教育・保育共通カリキュラム策定委員会委員名簿	37
門真市就学前教育・保育共通カリキュラム策定員会作業部会委員名簿	38
諮問書	39
答申書	40
表記例及び用語解説	42